名を捨てて実も捨てる

民進・前原代表は言う。安倍政権を倒すために「名を捨てて実を取る」。
しかし、その実相は「名を捨てて実も捨てる」でしかない。

「当選」して「政治家」として生き残るためには、安保法制反対を、共謀罪反対を、そして改憲反対を叫んだこともすっかり忘れたように、恥も外聞も無く目の前にぶら下げられた蜘蛛の糸にすがりつく、惨め、哀れな姿。

そうしてまで生き残りたい政治家らが織りなす「第２自民党」を創り出すための「小池劇場からくり芝居」に目を眩まされてはならない。

弁護士□梶山□敏雄